

# ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切に、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

## 人権とはなんですか？

人権とは「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」あるいは「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持っている権利」であって、だれにとっても大切なもの、日常の思いやりの心によって守られなければならないものです。今回も、「子どもの虐待」についてお伝えします。

### 子どもの虐待とは？

虐待と思われる事実を知ったときには通報してください

子ども虐待を発見したり、著しく子どもの様子が変だと感じたら、児童相談所（児童相談所共通ダイヤル 1110570106 41000）や役場の担当窓口、福祉事務所に通報をお願いします。

子育て中の親子に優しいまなざしをお願いします

近所や外出先で出会った子育て中の親子に、優しいまなざしをお願いします。赤ちゃんに微笑みかけたり、階段で困っている親子を見かけたらベビーカーの持ち運びを手伝ったり、そんな些細なあなたの行動が、子育て中の親子の心の支えになることもあります。

子育てに悩んでいる人は、ひとりで抱え込まずに相談しましょう

「子どもをひどく叱っている」……など、日常的ではない

けれど、気になる親子の様子があったら、可能なら声をかけてみましょう。育児の悩みを話せる相手がいれば、もしかしたら心が少しおだやかになれるかもしれません。でも、あなたが受け止めきれなかったら、無理することなく、児童相談所などに連絡し、専門職の支援にゆだねるようにしましょう。

昔から「三つ子のたましい百まで」といわれてきましたが、人間の子どもは、たましいも頭脳も3歳までにほぼでき上がってしまふといわれています。その言葉と矛盾するようですが、

人の子どもほど、与えられた能力が発揮できるようにするまで時間がかかる動物はいません。赤ちゃんが最初に学ぶことは「口から食べ物を取り入れ、肌の接触で人の温かさを取り入れ、耳からは優しさを取り入れ、目で自分の世界を取り入れていく」と言われています。赤ちゃんは3歳になるまでにこれらのことを無意識に心と頭で学んでいるのです。そして、大人になるまで何回か反抗期を迎えながら自立の準備をしていきます。

人は、赤ちゃんであっても大人であっても、深い孤独感を感じ、意識のうちに感じていると思います。

子どもは、大人に優しく声をかけられ、育まれることを待っています。しかし幼く、寂しさを感じていること、ひとり心の中で悩んでいることを上手に表現できません。愛されたい思いを受け取ってと、大人へのサインを必死で送っていることでしょう。

子どもたちは求めています。温かいまなざしと、はげましの言葉と、あなたの微笑みと、すべてを受け止めてくれる大きな心へ。



※次回も、その他の事例を紹介いたします。

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。

役場 人権対策課